

高齢者介護の質向上にむけた動向：切れ目のない支援を —アクティブ・エイジングとウェルビーイング—

<総説>

Healthy Ageing の取り組みに関する国際動向とその評価指標

佐々木由理¹⁾, 尾白有加²⁾, 菖蒲川由郷²⁾, 山口佳小里³⁾, 児玉知子¹⁾, 町田宗仁¹⁾

¹⁾ 国立保健医療科学院公衆衛生政策研究部

²⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科

³⁾ 国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部

International trends in Healthy Ageing initiatives and their evaluation indicators

SASAKI Yuri¹⁾, OHAKU Yuka²⁾, SHOBUGAWA Yugo²⁾, YAMAGUCHI Kaori³⁾,
KODAMA Tomoko¹⁾, MACHIDA Munehito¹⁾

¹⁾ Department of Public Health Policy, National Institute of Public Health

²⁾ Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences

³⁾ Department of Health and Welfare Services, National Institute of Public Health

抄録

目的：世界の急速な高齢化に伴い、Healthy Ageingは重要なキーワードとなっている。そこで、Healthy Ageingの取り組みに関する世界保健機関（World Health Organization, WHO）のレポートや論文をレビューし、更にこれまでに開発された、国や地域のHealthy Ageingの度合いを測定するための指標について報告する。

WHOはHealthy Ageingを「高齢であっても満足できる生活状態を可能にする機能的能力を発達させ、維持するプロセス」と定義し、他の国連機関と協力して様々な取り組みを行っている。国連が定めた「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」（2021年～2030年）の2023年時点の進捗状況についての報告では、多くの国が高齢化に対する政策を策定している中で、人材や資金などの不足が政策の実施を限定的にしている可能性を指摘しており、社会経済状況等の違いが、世界のHealthy Ageing達成の阻害要因となっていることが示唆された。

一方で、Healthy Ageingに関する指標は、複数存在しており、人材や資金などが十分ではない低所得国等でも使いやすい指標も開発されている。こうした指標を活用しながら、各国の高齢化に対する目標が具体的になり、Healthy Ageingに向けた様々な社会環境が改善されていくことが期待される。

キーワード：高齢化, Healthy Ageing, 指標, 世界保健機構

Abstract

Healthy Ageing has become an important keyword in the context of rapidly aging global population. This paper reviews World Health Organization's (WHO) reports and papers on Healthy Ageing initiatives, and

連絡先：佐々木由理
〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
2-3-6 Minami, Wako, Saitama 351-0197, Japan.
Tel: 048-458-6149 Fax: 048-469-2768
E-mail: sasaki.y.aa@niph.go.jp
[令和6年6月11日受理]

reports on indicators developed to date to measure the extent to which countries and regions are Healthy Ageing.

The WHO defines Healthy Ageing as “the process of developing and maintaining the functional ability that enables wellbeing in older age.” It is collaborating with other United Nations (UN) agencies on similar initiatives. The report on the progress of the Decade of Healthy Ageing (2021–2030) as of 2023, established by the UN, indicates that while many countries are formulating policies for aging, the lack of human and financial resources may be limiting the implementation of such policies. The report highlighted the possibility that differences in socioeconomic conditions and other factors are hindering the achievement of Healthy Ageing worldwide.

There are several indicators related to Healthy Ageing. A few indicators are easy to use even in low-income countries where human and financial resources are inadequate. Hopefully, these indicators could be used to assist countries set concrete goals for aging and improve the social environment for Healthy Ageing.

keywords: ageing, healthy ageing, indicators, World Health Organization

(accepted for publication, June 11, 2024)

I. 世界の高齢化

人口の高齢化は、世界的に最も重要な医学的・社会人口統計学的課題である。2022年の時点で65歳以上の割合が21%以上の超高齢社会に入っている国は日本を含め10か国以上となっている[1]。今後は、低所得国においても急速に高齢化が進展することが懸念されている。世界保健機関（World Health Organization, WHO）は、2050年までに20億人以上が60歳以上に達し、2015年から2050年の間に、世界の60歳以上の人口割合は12%から22%と2倍近くの割合に達すると推定している[2]。

高齢者人口の増加により、既に世界の中には、非感染性疾患や慢性疾患の罹患者の増大に伴う医療費の増加、年金費用の増加、国民人口に占める労働人口の割合の減少等に直面し始め、保健・社会システムの変革の必要性を迫られている国もある。急速な高齢化の主な要因は、ここ数十年の出生率の低下であり、さらに寿命の延伸が拍車をかけている。

高齢化の進展に伴って挙げられる課題の1つに高齢者の健康問題があり、高齢者の健康の維持には、単一ではなく、複数の要因が作用するとされている。つまり、「機能的能力（自身が重要だと考えることを実行でき、望ましい状態を可能にする能力）」、「内在的能力（個人の身体的、精神的能力を合わせた能力）」、「外因性の環境」の3つに関わる要因であり、これらが相互に作用して健康が維持されるとしている[3, 4]。

高齢化が進展する中、高齢者の様々な健康問題に対応するため、多くの国が定年退職年齢を引き上げ、年金給付を削減することで、高齢者の医療・介護への支出を増やしている[5]。しかし、急速な高齢化に対応するためには、医療・介護関連施策ならびにそれらのサービスの提供体制整備のみならず、高齢化や高齢者に対するネガティブなイメージの払拭、更に、高齢化を危機ではなくチャンスとして活用するような思考の転換等、総合的な

社会の変革が必要である。

II. Healthy Ageing の国際動向とその評価指標

上記の社会の変革のキーワードになるのがHealthy Ageingである。そこで、Healthy Ageingの取り組みに関するWHOのレポートや論文をレビューし、更に国や地域のHealthy Ageingの度合いを測定するために開発された指標についてweb検索した。論文レビューの検索キーワードとして、英語では「World Health Organization,」「Healthy Ageing」, 日本語では「世界保健機関」「健康加齢」「健康寿命」を用いた。評価指標のweb検索については、英語では「Healthy Ageing」「index」「indicator」, 日本語では「健康加齢」「健康寿命」「インデックス」「指標」を用いた。以下に、その結果を整理して述べる。

1. WHOによるHealthy Ageing の定義

WHOはHealthy Ageingの定義を「高齢であっても満足できる生活状態を可能にする機能的能力を発達させ、維持するプロセス」とし[6]、病気や虚弱ではないことだけでなく、人々が生涯を通じて、その人らしく、その人が大切にしていることができるような環境と機会を作り出すことに着目している[7]。WHOはこの定義に基づき、Healthy Ageingを促進するための世界戦略を打ち出している。

2. WHOのHealthy Ageingに向けたこれまでの主なレポート

WHOは2015年に初めて、高齢化と健康に関するワールド・レポートを発表し、高齢者の多様性への対応、高齢者の幸福や住み慣れた環境での機能的、保健・社会システムの抜本的な改革、社会での高齢者の捉え方の変革、介護システムの策定、高齢者にやさしい都市づくりの推進等、医療面にとどまらない、高齢者の権利や

社会の変化にも着目した、高齢化対策の指針を示した[8]。その後、2016年の世界保健会合（the World Health Assembly）で、「高齢化と健康に関する世界戦略と行動計画（Global strategy and action plan on ageing and health 2016-2020）」が採択され、2020年までに①すべての人の機能的な能力を最大限に引き出すために5年間でエビデンスに基づく行動を起こすこと、②国連が提唱した2021年から2030年の「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」に関連し、必要なパートナーシップを確立すること、という2つの到達目標を掲げた[9, 10]。

この計画が必要になった背景には、世界的に高齢化が進行する中で、高齢者の健康に社会経済的な不平等により大きな格差が生じていることと、高齢化予測はできて、その準備状況が国によって大きく異なることを挙げている[11]。WHOは、この行動計画の中で、「各国の計画と行動の支援」、「より良い世界規模のデータ収集とHealthy Ageingに関する研究の促進」、「高齢者のニーズに合わせた保健システムの整備」、「長期的な統合ケアに必要な基盤の構築と人材の確保」、「高齢者差別をなくすための世界的キャンペーンの実施」、「高齢者にやさしい都市とコミュニティのための世界的ネットワークの強化」を主な優先課題として設定している。これは、2015年当初のレポートの内容をアップデートしたものとなっている。

3. 「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」の評価指標とその進捗

WHOは、上記の「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」の測定、モニタリング、評価を行う技術諮問グループを設立し、エビデンスのレビューを行い、提言を行っている。この技術諮問グループは、表1に示した「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」実施の進捗状況を示す指標に基づいて評価を行うとしている。

2023年には、初めて「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」の進捗状況が報告された[12]。なお、この報告書では進捗状況を4つの行動分野、すなわち、1) 年齢に基づく差別に反対する法律の制定、2) 高齢者の補

助製品へのアクセスを支援する法律の制定、3) 高齢者に優しい都市とコミュニティのための国家プログラムの制定、4) 医療・社会的ケアのニーズの包括的評価に関する国家政策の制定、の実施を支援する政策、戦略、行動計画、プログラム、データを有する国の割合が2020年のベースラインから増加したかどうかで評価している。そして、「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」の第1フェーズ（2021年から2022年）において、加盟国は、新たな政策、戦略、枠組みを策定し、Healthy Ageingに関するデータ収集を実施してきているとし、上記の4つの行動分野において進展が見られたとしている。また、多様なステークホルダーがパートナーシップを形成し、提携を強化すると共に、高齢者自身も一緒に声を挙げ始めたとしている。一方、4つの行動分野それぞれで、「行動するためにどのような政治的支援や資源を得たか？」について各国に尋ねたところ、「資源が十分であった」、あるいは「相当なものであった」と回答した国は3分の1以下に留まり、「資源が提供されなかった」と回答した国もあった。また、進捗報告の中で、「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」の第2フェーズにおいて、政策策定、戦略プログラム策定、その実施に必要なデータが不足している低所得国において4つの行動分野を実施できるようにすることが優先事項であるとしている[12]。

このように、多くの国が政策を策定してきている一方で、人材や資金などの不足が政策の実施を限定的にしている可能性があるとして報告している。低所得国においては、Healthy Ageingの枠組みについて適用のエビデンスがない国も多かった。Healthy Ageingに関するプログラムを効果的に実施するためには、国家能力と、年齢別に分類されたデータによる進捗状況の綿密なモニタリングの必要性も指摘された[13]。

4. Healthy Ageingに関わるその他の指標

上記と共に、これまでに国際機関や国際NGO（Non-governmental Organization）等が提案し、利用されてきたHealthy Ageingに関わる主な指標には、下記の3つが存在

表1 「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」の実施について各国をモニターするための進捗状況評価指標

1	高齢化と健康に関するフォーカルポイントの存在
2	健全な高齢化に沿った国の政策、戦略、計画
3	高齢化と健康に関する国のマルチステークホルダーフォーラムまたは委員会
4	年齢に基づく差別に反対する国の法律と戦略の施行
5	高齢者が支援機器を利用できるようにするための法律または規制
6	WHOの「高齢者にやさしい都市とコミュニティのための世界的ネットワークの強化」の活動を支援するための国のプログラム
7	高齢者の保健および社会的ケアのニーズの包括的評価を支援するための国家政策
8	高齢者の長期ケアを支援するための国家政策
9	高齢者の健康状態およびニーズに関する横断的データを用いた全国的な人口調査
10	高齢者の健康状態およびニーズに関する縦断的データを提供する全国的な代表人口調査

文献[12]に記載された評価指標を筆者が日本語訳

表2 改訂版ASEAN-JAPAN Healthy & Active Ageing Index (HAAI) の領域と指標

領域 指標

1. 政策・統計 (10 指標)

- 1) 政策: 他部門に及ぶ健康およびアクティブ・エイジング
- 2) 政策: ヘルスケア (非感染性疾患 NCD を含む)
- 3) 政策: 介護制度
- 4) 統計: 高齢者の割合および分布
- 5) 統計: 人口動態統計 (死因統計を含む)
- 6) 統計: 高齢者の健康および生活状況
- 7) 統計: 高齢者の医療費
- 8) 統計: 医療・介護従事者数
- 9) 統計: 介護施設定員
- 10) 政策と統計に関する総合ポイント

2. 所得および生活保障 (7 指標)

- 1) 絶対的貧困率
- 2) 相対的貧困率
- 3) 経済的手段
- 4) 食料不足
- 5) 就労
- 6) 公的年金や福祉給付などの所得保障のカバレッジ
- 7) 持ち家

3. 健康および生活の質 (12 指標)

- 1) 60歳時平均余命
- 2) 60歳時健康余命
- 3) 非感染症疾患(Non-Communicable Diseases, NCDs) 死亡率
- 4) 高齢者の自殺死亡率
- 5) 障害: 日常生活活動(Activities of Daily Living, ADL)
- 6) 障害: ワシントングループ (Washington Group)
- 7) 障害: Global Activity Limitation Indicator (GALI)
- 8) 認知症有病率
- 9) 主観的健康感
- 10) 要介護
- 11) 医療におけるアンメット・ニーズ
- 12) 運動習慣 (歩行を含む)

4. ソーシャル・キャピタル (6 指標)

- 1) 孤独/社会的孤立
- 2) 社会活動への参加 (地域活動, 政治活動, 宗教活動)
- 3) 家族や友人とのコミュニケーション
- 4) 地域への信頼
- 5) 地域の安全
- 6) 子や孫の世話

5. 能力を活かせる環境 (6 指標)

- 1) 携帯電話の保有
- 2) インターネットへのアクセス
- 3) 安全な飲料水が備わった住居
- 4) トイレの備わった住居
- 5) 教育 (初等教育修了レベル)
- 6) 身体的, 心理的, 経済的, 性的な暴力からの解放

6. COVID-19 (2指標)

- 1) COVID-19 致命率
- 2) COVID-19 ワクチン接種率

「Revised ASEAN-JAPAN Healthy & Active Ageing Index (Revised HAAI) and Policy Guide for its Application」の日本語版「Revised ASEAN-JAPAN Healthy & Active Ageing Index (改訂版HAAI) とその活用に関するポリシーガイド」に基づいて筆者が作成

する。それらは、国連欧州経済委員会によるActive Ageing Index [14], HelpAge International によるGlobal AgeWatch Index [15], Hartford Foundation によるJohn A. Hartford Foundation Aging Society Index [16]である。例えば、Active Ageing Indexには、「身体運動、生涯学習、社会参加」についての指標、Global AgeWatch Indexには、「公共交通機関へのアクセス」についての指標、John A. Hartford Foundation Aging Society Indexには、「中年層の再トレーニング」についての指標がそれぞれ含まれているといったように、3つのIndexで、測定指標が異なっている部分があったり、あるいは、類似の指標であっても、質問項目や対象年齢が異なっている部分があった。また、地域を限定すれば、2017年にマニラで開催された第3回ASEAN-Japanアクティブ・エイジング地域会議（3rd ASEAN-Japan Active Ageing Regional Conference）を経て提唱された、ASEANにおける高齢化の指標となりうる「ASEAN-JAPAN Healthy & Active Ageing Index (HAAI)」と、その改訂版である「改訂版ASEAN-JAPAN HAAI（以下、改訂版HAAI）」が開発されている。

改訂版HAAIは、上記の国際機関・国際NGOによる3指標や「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」の概念や枠組み、更に、「持続可能な開発目標」（UN Sustainable Development Goals）の概念や枠組みを参照し、それらの指標の開発担当者らと議論した上で、6領域43指標からなる改訂版として、厚生労働科学研究費（地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業）「ASEAN等における高齢者介護サービスの質向上のための国際的評価指標の開発と実証に資する研究（代表 曾根智史）」によって開発された[17]。改訂版HAAIには、これまでの指標に組み入れられていなかった、介護保険サービス、要介護や認知症の高齢者割合、COVID-19に関わる指標なども組み入れられた（表2）。また、中所得国がターゲットとなることを鑑みて、6領域43指標のデータの入手可能性を考慮している。すべての領域・指標のデータが、入手可能であることは非常に稀であることから、改訂版HAAIでは、入手できるデータを有効に活用するために、既存の3つのIndexの測定方法を参考に、入手可能なデータのみによる比較を可能にする方法（得られた数値の平均値と標準偏差から算出される偏差値（T-score）に変換）を採用している[17]。このため、データが十分に揃わない国々（低所得国等）においても比較利用しやすくなっている。

III. おわりに

Healthy Ageingについての世界戦略が打ち出されたのは、ここ10年ほどである。2021年からの「Decade of Healthy Ageing（健康長寿の10年）」の評価指標には、年齢による差別の是正などを盛り込み、各国の社会全体の変革に関わる視点がある。また、エビデンスに基づいたプログラムや政策の進捗状況を評価するために、各国

のHealthy Ageingに関わる代表データの収集、調査の有無も評価指標に含まれている。しかし、世界の高齢者の健康について、社会経済状況の違いによる格差が縮小されているとは言い難く、国によって、高齢化に向けた準備状況に差があることも明らかであり、世界的なHealthy Ageing達成に向けて未だに課題が多い。例えば、平均余命について、性別、教育、人種などの要因に関連して不平等が存在していることがシステムティックレビューによって明らかにされている[18]。また経済協力開発機構（OECD: the Organization for Economic Cooperation and Development）に加盟している18か国に限定した比較研究においても、高齢化への適応について、各国の進捗が大きく異なっていることが示されている[19]。

一方で、Healthy Ageingに関する指標は、複数存在しており、既存の指標のメリットを活かし、資源や資金が十分ではない低所得国等でも使いやすい指標も開発されてきている。こうした指標を活用しながら、各国の高齢化に対する目標が具体的になり、Healthy Ageingに向けた様々な社会環境が改善されていくことが期待される。

また、日本は超高齢社会の先進国として、高齢化政策、Healthy Ageingや介護予防に関する活動などのエビデンスを国際社会に発信し、高齢化対策についての世界的な指針作成に関わることが求められていると考える。これは日本の国際協力の柱となり得る分野になると思われる。

倫理面への配慮

公表されている既存の文献を用いた研究である。個人や集団の特性を表現する場合は十分に配慮した。

利益相反

本稿において、開示すべき利益相反（COI）はない。

本稿は、厚生労働科学研究費（地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業）「ASEAN等における高齢者介護サービスの質向上のための国際的評価指標の開発と実証に資する研究（研究代表者：児玉知子、23BA1003）」によって実施された。

引用文献

- [1] The World Bank. Population ages 65 and above (% of total population). 2022. <https://data.worldbank.org/indicator/SPPOP65UPTO.ZS> (accessed 2024-05-01)
- [2] World Health Organization. Ageing and health. 2024. <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/ageing-and-health> (accessed 2024-05-01)
- [3] Cesari M, Araujo de Carvalho I, Amuthavalli Thiyagarajan J, Cooper C, Martin FC, Reginster JY, et al. Evidence for the domains supporting the construct of intrinsic capacity. The journals of gerontology Series A, Biological sciences

- and medical sciences. 2018;73(12):1653-60. doi: 10.1093/gerona/gly011
- [4] 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート. 超高齢化社会の鍵を握る「健康寿命」の行方を問う. シンポジウム「グローバル高齢化時代と健康寿命の未来～現在地とこれから～」開催報告. 2022. Keio University Global Research Institute. [Chokoreika shakai no kagi o nigiru kenko jumyo no yukue o tou.] In: Symposium “Global koreika jidai to kenko jumyo no mirai genzaichi to korekara” kaisai hokoku. 2022. <https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/123318.html> (in Japanese) (accessed 2024-05-01)
- [5] World Atlas. Countries with the largest aging population in the world. 2017. <https://www.worldatlas.com/articles/countries-with-the-largest-aging-population-in-the-world.html>
- [6] Michel JP, Sadana R. “Healthy Aging” concepts and measures. *Journal of the American Medical Directors Association*. 2017;18(6):460-4. doi: 10.1016/j.jamda.2017.03.008
- [7] World Health Organization. Healthy ageing and functional ability. 2020. <https://www.who.int/news-room/questions-and-answers/item/healthy-ageing-and-functional-ability> (accessed 2024-05-03)
- [8] World Health Organization. World report on ageing and health. 2015. <https://www.who.int/publications/item/9789241565042> (accessed 2024-05-03)
- [9] World Health Organization. The Global strategy and action plan on ageing and health. 2017. <https://www.who.int/publications/item/9789241513500> (accessed 2024-05-03)
- [10] 近藤尚己, 齋藤順子. Healthy Ageing 戦略への日本の貢献可能性と課題の整理. 厚生労働科学研究費補助金地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究「日本の高齢化対策の国際発信に関する研究」(研究代表者: 近藤尚己. H29-地球規模一般-001) 平成29年度総括研究報告書. 2017. p.12-16. Kondo N, Saito J. [Healthy Ageing senryaku eno nihon no koken kanosei to kadai no seiri.] “Nihon no koreika taisaku no Kokusai hasshin ni kansuru kenkyu”, Research on policies for global health issues, Health, Labour and Welfare Sciences Research Grants. (Kenkyu daihyosha: Kondo N. H29-Chikyukibo-ippan-001) FY2017 Sokatsu kenkyu hokokusho. 2017. p.12-16 (in Japanese)
- [11] World Health Organization. WHO’s work on the UN Decade of Healthy Ageing (2021–2030). 2024. <https://www.who.int/initiatives/decade-of-healthy-ageing> (accessed 2024-05-03)
- [12] World Health Organization. Progress report on the United Nations Decade of Healthy Ageing, 2021-2023. 2023. <https://www.who.int/publications/item/9789240079694> (accessed 2024-05-03)
- [13] Rudnicka E, Napierała P, Podfigurna A, Męczekalski B, Smolarczyk R, Grymowicz M. The World Health Organization (WHO) approach to healthy ageing. *Maturitas*. 2020;139:6-
- [14] United Nations Economic Commission for Europe. Active Ageing Index. <https://unece.org/population/active-ageing-index#:~:text=The%20Active%20Ageing%20Index%20is,their%20capacity%20to%20age%20actively> (accessed 2024-05-06)
- [15] United Nations Economic Commission for Europe. Active Ageing Index. <https://unece.org/population/active-ageing-index#:~:text=The%20Active%20Ageing%20Index%20is,their%20capacity%20to%20age%20actively> (accessed 2024-05-06)
- [16] United Nations Economic Commission for Europe. Active Ageing Index. <https://unece.org/population/active-ageing-index#:~:text=The%20Active%20Ageing%20Index%20is,their%20capacity%20to%20age%20actively> (accessed 2024-05-06)
- [17] United Nations Economic Commission for Europe. Active Ageing Index. <https://unece.org/population/active-ageing-index#:~:text=The%20Active%20Ageing%20Index%20is,their%20capacity%20to%20age%20actively> (accessed 2024-05-06)
- [18] Pongiglione B, De Stavola BL, Ploubidis GB. A systematic literature review of studies analyzing inequalities in health expectancy among the older population. *PloS one*. 2015;10(6):e0130747. doi: 10.1371/journal.pone.0130747
- [19] Chen C, Goldman DP, Zissimopoulos J, Rowe JW. Multidimensional comparison of countries’ adaptation to societal aging. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*. 2018;115(37):9169-9174. doi: 10.1073/pnas.1806260115